

	A	B	C	D	E
1					
2					
3		品名	単価	個数	金額
4		鉛筆	100	20	
5		消しゴム	50	5	
6		ボールペン	150	30	
7					

上記の表で、「鉛筆」の金額を求めたい場合、「鉛筆」の単価(100)×個数(20)で求められます。
 計算式は $100 \times 20 = 2000$ です
 これを計算機で計算し、金額に「2000」と入力するだけなら、エクセルを使う意味がありません。
 計算機の代わりに、エクセルで計算をします。

エクセルで計算するには、まず計算結果を表示させたい場所(セル)に、『=』(イコール)と入力します。
 この『=』(イコール)は、「ここは計算式ですよ」の合図(マーク)です。
 次に、100と20の掛け算(×)ですが、エクセルにおいて掛け算(×)は、『*』(アスタリスク)で表示します。
 なので、『=100 * 20』と入力すればOKです。

しかし、ここでは個数が増え「30」になった場合、計算式を『=100 * 30』と再入力しなければなりません。
 そこで、数字(100や20)ではなく、セル番地を入力します。
 上記の表では、鉛筆の単価は「C4」、個数は「D4」です。
 計算式は、『=C4 * D4』です。
 この『C4』・『D4』はキーボードで入力しても良いですが、実際の「セル」をクリックしてもOKです。
 このように、セル番地で計算すると「単価」や「個数」に変更があっても、金額を自動計算してくれます。

	A	B	C	D	E
1					
2					
3		品名	単価	個数	金額
4		鉛筆	100	20	2,000
5		消しゴム	50	5	250
6		ボールペン	150	30	4,500
7					

エクセルの四則演算では、下記の記号を使います。

足し算 『+』	掛け算 『*』
引き算 『-』	割り算 『/』